

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

平成20年度

施設評価調書

施設の名称.....外ヶ岡交流拠点

所管担当課.....観光交流課

平成20年7月

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

施設の概要

1 施設名	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)		2 担当課 担当係	観光交流課 観光戦略係																																				
3 所在地	下田市外ヶ岡1番地の1		4 設置年月	平成12年8月1日																																				
5 総合計画の 位置付け	人財づくり	自ら学ぶ歴史のまちづくり	生涯教育																																					
	施策体系	郷土文化の保全と継承	交流拠点施設の整備・充実																																					
	主要事業	交流拠点施設管理運営事業	道の駅開国下田みなとの運営 自主事業の展開																																					
6 設置目的	下田市の歴史や文化の調査、研究、学習活動等を通じ、郷土を担う人材を育成する。 地域固有の資源を活用して豊かな地域づくりを図る。																																							
7 設置根拠	下田市外ヶ岡交流拠点施設条例																																							
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 14,700 m ² 建築面積 3,621.87 m ² 延床面積 5,649.38 m ² 鉄筋鉄骨コンクリート4階																																						
		歴史の交流館(特別展示室、会議室1・2・3、常設展示室、特別収蔵庫、 収蔵庫、市史編纂室) 海の交流館(市民ギャラリー1・2・3、売店等) 駐車場、木製デッキ																																						
	実施事業 の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・南伊豆地域の歴史、文化及び地場産品等の紹介、来遊客への各種情報提供、各種イベント会場としての活用等を通じ、市民と来遊客の交流の場を提供。 ・道の駅として道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供。 ・下田市史編纂室、収蔵庫等を配置し、貴重な歴史資料の整理研究、保存を行う。 																																						
	料金体系	料金区分	1 会議室等使用料 2 駐車場使用料(一般、大型駐車場は無料) 3 売店等使用料 4 常設展示室入館料																																					
	主な料金	h18.10.3議決(料金改定の議決:施行日h19.4.1施行) 下記記載の料金は、現行の料金表です。 1 会議室等使用料 (1)歴史の交流館 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>全日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別展示室</td> <td>3,300円</td> <td>4,400円</td> <td>7,700円</td> </tr> <tr> <td>会議室1</td> <td>1,200円</td> <td>1,600円</td> <td>2,800円</td> </tr> <tr> <td>会議室2</td> <td>1,500円</td> <td>2,000円</td> <td>3,500円</td> </tr> <tr> <td>会議室3</td> <td>2,400円</td> <td>3,200円</td> <td>5,600円</td> </tr> </tbody> </table> (2)海の交流館 <table border="1"> <thead> <tr> <th>市民ギャラリー</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民ギャラリー-1</td> <td>1,200円</td> <td>1,600円</td> <td>2,800円</td> </tr> <tr> <td>市民ギャラリー-2</td> <td>1,200円</td> <td>1,600円</td> <td>2,800円</td> </tr> <tr> <td>市民ギャラリー-3</td> <td>900円</td> <td>1,200円</td> <td>2,100円</td> </tr> </tbody> </table> 2 駐車場使用料 無料 売店等使用者駐車場 5,000円(1区画1ヶ月) 3 売店等使用料 (1)販売使用 月額 3,000円/m ² (2)事務所使用 月額 2,400円/m ² 4 常設展示室入館料 一般 500円 団体(20人以上) 400円 小中生徒 250円 団体(20人以上) 200円				午前	午後	全日	特別展示室	3,300円	4,400円	7,700円	会議室1	1,200円	1,600円	2,800円	会議室2	1,500円	2,000円	3,500円	会議室3	2,400円	3,200円	5,600円	市民ギャラリー	1	2	3	市民ギャラリー-1	1,200円	1,600円	2,800円	市民ギャラリー-2	1,200円	1,600円	2,800円	市民ギャラリー-3	900円	1,200円	2,100円
	午前	午後	全日																																					
特別展示室	3,300円	4,400円	7,700円																																					
会議室1	1,200円	1,600円	2,800円																																					
会議室2	1,500円	2,000円	3,500円																																					
会議室3	2,400円	3,200円	5,600円																																					
市民ギャラリー	1	2	3																																					
市民ギャラリー-1	1,200円	1,600円	2,800円																																					
市民ギャラリー-2	1,200円	1,600円	2,800円																																					
市民ギャラリー-3	900円	1,200円	2,100円																																					

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

8 施設の概要	料金体系	減免内容	h18.10.3 議決(料金改定の議決:施行日 h19.4.1 施行) 下記記載の減免規定は、現行の減免規定です。 h18.6.28 議決(相互利用:河津町・h18.9.1 施行) (使用料の減免) 第9条 市長は、特に必要があると認めるときは、別表1に定める会議室等使用料及び売店等使用料(売店使用料は除く。)を減免することができる。 2 前項に規定する使用料の減免は、次に掲げるとおりとする。 (1) 市、南伊豆町若しくは河津町の主催で使用するとき、又は国の機関若しくは地方公共団体が市と共催で使用するとき。 全額免除 (2) 市内、南伊豆町内若しくは河津町内(以下「市内等」という。)の保育所、幼稚園又は小・中学校(以下「学校等」という。)の主催で、園児、児童又は生徒(以下「生徒等」という。)の教育のために使用するとき。 全額免除 (3) 公立小・中学校(市内等公立小・中学校を除く。)又は公立高等学校の主催で、その目的が教育のために使用するとき。 5割の減額 (4) 国の機関若しくは地方公共団体又は公共団体の主催で、その目的が公益のために使用するとき。 3割の減額 (5) 全各号に定めるもののほか、市長が必要と認めるとき。 5割の減額 (入館料の減免) 第10条 市長は、特に必要があると認めるときは、入館料を減免することができる。 2 前項に規定する入館料の減免は、次に掲げるとおりとする。 (1) 市内等の学校等の主催で、生徒等及びその引率者が、生徒等の教育のために入館するとき。 全額免除 (2) 公立小・中学校(市内等の公立小・中学校を除く)又は公立高等学校の主催で、児童又は生徒及びその引率者が、児童又は生徒の教育のために入館するとき。 5割の減額 (3) 前2号に掲げるもののほか、特に市長が必要と認めるとき。 5割以下の減額		
			利用料金制度	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	施設運営方法	○ 直接運営			
		<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度	指定管理者 (株)アドミニスター下田		
直接従事職員	一部委託 委託内容				
	指定管理者数 2名(臨時職員 7名)				
9 市内の類似施設	下田市所有	なし			
	民間所有	下田開国博物館 相違点:幕末時の米国・ロシアとの開国関係の資料を中心とした資料館 開国下田みなとは、下田の美しい自然、歴史を映像や模型で紹介している。			
10 取得費等の情報 (単位:千円)	取得費及び財源内訳(千円)		平成19年度末残高(千円)		(備考) 事業費は平成9年度~平成13年度のリープロ分を対象 減価償却の方法 5年経過 ・ 定額法 ・ 残存価格1円 ・ 新設翌年度から償却 ・ 建物50年 ・ h12.8~h62.7
	土地取得費	198,215	建物減価償却後残高	1,652,020	
	建物取得費	2,560,950	鉄骨鉄筋事務所 50年	1,271,270	
	建築本体	1,501,500	映像関係 5年	0	
	展示設備	169,000	その他展示物 15年	113,620	
		230,000	15年	114,114	
	電気設備	231,000	15年	153,016	
	機械設備	309,750			
	実施設計・監理	119,700			
	財源内訳	3,110,210			
	県支出金	289,400			
市債	2,799,100	市債残高(元金)	1,245,681		
一般財源	21,710	(基金含む)			
物品(30万円以上)		物品減価償却後残高			
減価償却費等	年間償却額の算出 建築本体 1,501,500,000円×0.02(50年)=30,030,000円/年(h12.8~h62.7) 展示設備(映像機器) 169,000,000円×0.2(5年)=33,800,000円/年(h12.8~h17.7) 展示設備(その他) 230,000,000円×0.066(15年)=15,180,000円/年(h12.8~h27.7) 電気設備 231,000,000円×0.066(15年)=15,246,000円/年(h12.8~h27.7) 機械設備 309,750,000円×0.066(15年)=20,443,500円/年(h12.8~h27.7)				

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

11 年間経費 等推移 (単位：円)	区 分		H17年度決算	H18年度決算	H19年度決算	H20年度予算
	収入	施設使用料	1,856,600	1,948,250		0
		展示室入館料	1,867,730	2,141,520		0
		駐車場使用料	2,855,000	2,640,000		0
		一時使用料	11,959,726	11,664,915	124,414	112,000
		その他収入	396,820	617,560		0
	収入合計		18,935,876	19,012,245	124,414	112,000
	支出	2節 給料	4,715,400	4,840,200		0
		3節 職員手当等	2,664,563	2,616,746		0
		4節 共済費	943,634	988,798		0
		7節 賃金	17,574,486	17,581,132		0
		9節 旅費	0	4,000		0
		11節 需用費	14,121,994	11,474,072	775,950	1,000
		12節 役務費	829,850	831,418	115,593	124,000
		13節 委託料	5,536,668	4,791,292	18,503,100	17,395,000
		14節 使用料及び 賃借料	359,653	278,725	7,925	8,000
		15節 工事請負費	0	0	0	0
		18節 備品購入費	62,475	0	0	0
		19節 負担金補助 及び交付金	140,000	154,000	0	0
		27節 公課費	8,800	8,800	0	0
		支出合計		46,957,523	43,569,183	19,402,568
	(収入 - 支出)		28,021,647	24,556,938	19,278,154	17,416,000
	減価償却費(建物取得費分)		114,699,500	92,166,167	80,899,500	80,899,500
市債利子		44,265,000	39,955,000	24,623,820	21,049,945	
下田市負担年間総経費		186,986,147	156,678,105	124,801,474	119,365,445	
備考						
12 施設利用 状況等の推移	利用者数	利用区分	H17年度決算	H18年度決算	H19年度決算	H20年度
		常設展示室	6,365人	7,307人	6,167人	9,000人
		特別展示室	13,363人	13,928人	12,620人	15,000人
		市民ギャラリー	13,700人	13,250人	3,951人	4,000人
		会議室	11,272人	10,470人	8,737人	12,000人
		その他	337,667人	357,336人	380,631人	390,000人
		計	382,367人	402,291人	412,106人	430,000人
	参考：利用単位当 たり市負担額		489.02円	389.46円	302.84円	277.59円
	算出方法：11欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数					
	開場期間	休館日 12月31日				
使用時間	午前9時から午後5時分まで					
13 利用者 満足度調査	実施の有無	☑ 有 無		調査結果	トイレの清掃状況、従業員の対応等についての満足度は高い。立寄理由は、トイレ休憩84、食事85、買物70、情報収集48、その他51となっている。	
	直近の実施時期	平成19年4月～				
	調査手法	アンケート調査				
	調査数	338				

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

業績評価

1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
	入館料の目標値	円	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
	"の実績	円	1,867,730	2,141,520	1,926,170	
	目標達成度	%	62.26	71.38	64.21	
選択した指標	成果指標					
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由					
	<p>本施設は、下記の目的で設置されているが、端的に表す成果指標がないため代替指標を用いる。 下田市の歴史や文化の調査、研究、学習活動等を通じ、郷土を担う人材を育成する。 地域固有の資源を活用して豊かな地域づくりを図る。 代替指標 常設展示場の入館料の、過去4年の最大値を目標値とする。(H13年度300万円)</p>					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標					
	代替指標	常設展示室入館料				

(参考)

活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標)

活動指標			区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
活動指標	目標指標	会議室等の利用率	目標値	日	1,783	1,783	1,783	1,783
			実績値	日	793	842	795	
			達成度	%	44.48	47.22	44.59	
	目標指標の考え方	<p>会議室等の利用向上を検討するために、その利用率を指標として設定する。なお、利用率については日を用いて算定する。目標値は稼働可能日数の70%とする。(自主展示等の日数は除く) 目標値の算定: 364日(年間開館日数) × 7室 × 70% = 1,783日</p>						
活動指標	目標指標	特別展示室入場者数	目標値	人	25,000	25,000	25,000	25,000
			実績値	人	13,363	13,928	12,620	
			達成度	%	53.45	55.71	50.48	
	目標指標の考え方	<p>特別展示室は、当施設の特徴的施設であり、多目的な活用が求められるため、特別展示への入館者数を指標として設定する。 目標値算定: 過去の最大値である平成16年度入場者数の25%アップを目標数値とする。25,000人</p>						
活動指標	目標指導	レジ打込回数	目標値	回	338,715	338,715	351,067	355,757
			実績値	回	331,867	351,067	355,757	
			達成度	%	97.98	103.65	105.03	
	目標指標の考え方	<p>下田の歴史の楽しいまちの話題、新鮮な食事とお買い物の時間を提供する場所を図る指標として施設に出店している出店者のレジ打込回数を指標として設定する。 目標値算定: 過去最高の回数を目標数値とする。</p>						

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度 予算
	施設の総利用者数等		人	382,367	402,291	412,106	430,000
	年間経費 (除く収入)	施設の事業費・ 運営費および人 件費の合計額	円	<u>28,021,647</u>	24,556,938	19,278,154	17,416,000
	利用単位当 たり経費	÷	円/人	73.28	61.04	46.78	40.50
総利用者数等の 考え方 施設の総利用者 数等について用 いた指標につい て記載してくだ さい。	展示室入館者、会議室等使用者 等の実数及び売店レジ打ち込み 回数を集計し、総利用者として いる。なお、トイレ利用等の休 憩のみの利用者は集計されてい ない。	備考 コスト評価項目に 関して留意事項、補 足項目等があれば 記載してください。		平成15年度経費は、看板設置(3,367 千円)工事請負費(1,465千円)を含 む。平成17年度経費は、雷災害復旧分 (4,198千円:保険適用)を除いた数 値。			

その他の指標			区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
目標 指数	目標指数	光熱水費	目標値	千円	9,787	9,787	9,787	9,787
			実績値	千円	9,436	9,594	10,599	
			達成度	%	96.41%	98.03%	108.30%	
	目標指数の 考え方	電気・ガス・水道の料金を節約することで効率性を計る。 目標値算定：H15の料金10,874千円の90%とする。						
目標 指数	目標指数	消耗品費	目標値	千円	805	805	805	805
			実績値	千円	672	698	705	
			達成度	%	83.48%	86.71%	87.58%	
	目標指数の 考え方	消耗品費を節約することで効率性を計る。 目標値算定：H15の料金894千円の90%とする。						
目標 指数	目標指数	委託料(施設管理分)	目標値	千円	9,196	9,196	9,196	9,196
			実績値	千円	5,537	4,791	5,851	
			達成度	%	60.21%	52.10%	63.63%	
	目標指数の 考え方	委託料を節約することで効率性を計る。 目標値算定：H15の料金10,218千円の90%とする。H20目標値は予算額とする。						

受益者負担 の適正性	区分	説明	単位	H17年度	H18年度	H19年度
	使用料原価	1㎡1時間当たりの原 価	円	3.0円	3.2円	3.4円
	稼働割原価率	年間経費を年間収入で 賄えない比率	%	248%	229%	171%
	1㎡1時間 適正使用料	×	円	7.4円	7.3円	5.8円
	現行1㎡1 時間使用料 の平均	特別展示室、会議室、キ ャリ-の平均値	%	8.1円		
適正化計画	特別展示室、会議室、キ ャリ-使用料見直し	1㎡1時間使用料の平均を8.1円に見直し (平成19年4月～)				

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

施設の現状分析

判断視点		項目	施設の状況						
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	概ね設置目的に沿った利用がされている。 3階収蔵庫の保管資料の整理が思うようにできていないが、指定管理者導入により特別展示室の使用については民間団体への誘致等有効活用を図っている。						
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・南伊豆地域の歴史、文化及び地場産品等の紹介、来遊客への各種情報提供、各種イベント会場としての活用等を通じ、市民と来遊客の交流の場を提供。 ・道の駅として道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供。 ・下田市史編纂室、収蔵庫等を配置し、貴重な歴史資料の整理研究、保存を行う。 						
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	施設利用者数が年間40万人。教育旅行等も町歩き拠点として利用している。指定管理者アドバイザー下田と観光協会の情報を一元化し発信機能を高め、地域のゲートウェイとして将来性のある施設である。						
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどうなっているのか	開設8年目ということもあり、修繕計画は作成されていない。10年目以降具体的計画を策定する必要がある。今後は、施設改修のための基金等を設置し、計画的に修繕できる財政的基盤を整える必要がある。						
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	事務運営会議、出店者協議会を開催している。アンケート等により利用者の生の声を聴いている。						
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	食事処、売店等は一部競合。常設展示室は、主に下田の通史を扱っており、競合は少ない。情報発信機能は指定管理者であるアドバイザー下田と観光協会と一元化を図っている。						
		民間においても十分可能な施設なのか	市史編纂室による歴史の調査研究、資料保管の管理など民間の管理にそぐわない分野も多い。常設展示室には、実物の貸与品等も展示され、テナントも公共的団体が入居しており、道の駅としての公共性も考慮すると民間の管理にはそぐわない面もあるが、平成19年度より公共性の高い団体である商工会議所、観光協会、農協、漁協で(株)アドバイザー下田を設立し、指定管理者として管理している。						
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうか	平成19年度決算見込で一般財源19,402千円、利用者数は、412,106人ですので、1人当たり47.08円の経費となる。						
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうか (平成19年度実績)	<table border="1"> <tr> <td>下田開国博物館</td> <td>84,352人</td> </tr> <tr> <td>上原仏教美術館</td> <td>9,358人</td> </tr> <tr> <td>下田海中水族館</td> <td>266,761人</td> </tr> </table>	下田開国博物館	84,352人	上原仏教美術館	9,358人	下田海中水族館	266,761人
		下田開国博物館	84,352人						
	上原仏教美術館	9,358人							
	下田海中水族館	266,761人							
計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどうなっているのか	利用客数100万人を目標 推進計画策定時点(平成8年)の過去4年間の平均年間観光入込客数約550万人の2割								

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

行政規模からの判断視点			施設の耐用年数は何年有るのか	鉄骨鉄筋コンクリート造 店舗 39年 事務所 50年
			施設の今後の維持経費の算定はどうか	通常の維持管理経費 年間経費 約40,000千円 年間歳入 約22,000千円 ハーバーミュージアム展示物の模様替えを実施(カジキ関係展示)。映像機器等は生涯学習課と協議し、徐々に下田の歴史のパネル等に変えている。今後、機械設備、建物等の修繕費の増加が予想される。
		施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	通常の維持管理経費は、妥当であるが、大規模な施設改修等が必要となった場合は、行政経営の圧迫が予想される。
			現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	施設目的、事業内容から現行の指定管理者制度が妥当である。今後は、通常の維持管理費を削減し、施設の一層の有効活用を図り、収支を改善する必要がある。
		地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	特にされていない。
		施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	なし。
			老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	用途変更等を検討し、継続していくことが必要と思われる。
			地域、民間に譲渡できないのか	・市史編纂室、収蔵庫、ライブラリー等が設置されており困難と思われる。 ・県交付金(7億円)、地域総合整備事業債活用のため、国、県への手続きが必要。
			施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	代替可能な施設は無く、統廃合は不可能。

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	本施設は、複合施設であり、郷土史研究、資料保存、通史展示等の行政が関与しなければならない機能が配置されている。
	受益者負担の妥当性	平成19年4月1日から使用料を改定。
	実施主体の妥当性	設置目的1: 下田市の歴史や文化の調査、研究、学習活動等を通じ、郷土を担う人材の育成・・・下田市事業 設置目的2: 地域固有の資源を活用した豊かな地域づくり・・・公共的団体可 実施事業 1 南伊豆地域の歴史、文化の紹介・・・公共的団体可 2 地場産品等の紹介・・・民間可 3 来遊客への各種情報提供・・・公共的団体可 4 市民と来遊客が交流する場を提供・・・民間可 5 道の駅として道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスの提供・・・設置者は下田市、管理運営は民間でも可 6 下田市史編纂室、収蔵庫等を配置し、貴重な歴史資料の整理研究、保存・・・下田市教育委員会
		廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	入場者実数 H19年度42万人、当面の目標として50万人とする。 利用者向上策が必要な施設(利用率は19年度数値・364日営業として算出) 会議室・・・利用率28%(会議室1・・・30% 会議室2・・・24% 会議室3・・・31%) 定期的利用者の開拓 市民ギャラリー・・・利用率34%(ギャラリー1・・・16%、ギャラリー2・・・80%、ギャラリー3・・・5%) ギャラリーは本来の目的としての利用が少ない。 ギャラリー2は民宿組合を誘致し、利用率アップを図った。 特別展示室・・・利用率31% 定期的利用者の開拓 ハーバーミュージアム・・・団体誘致対策、市内宿泊施設への誘客依頼、展示物模様替え(カジキ関係等)
	執行方法の見直しなど効率化のための目標及び方策	・体験事業主催者等の誘致は、利用率アップに効果的。 ・特別展示室の利用は、経費が多くなるため注意が必要。 ・テレビ、ラジオ番組等の誘致による宣伝は効果が大きい。 ・施設目的と合致した活動をしている、商工会議所、観光協会、農協、漁協の4団体で構成される㈱アドミスター下田を指定管理者とし、施設全体の管理運営の効率化を図っている。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	平成19年4月1日から会議室等使用料、減免規定、売店使用料減額等改定。
アンケート調査等	来場者アンケート調査等の結果	平成19年4月～3月末 有効回答数 338件 トイレの清掃状況、従業員の対応等についての満足度は高い。立寄理由は、トイレ休憩84、食事85、買物70、情報収集48、その他51となっている。
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	駐車場の無料化、大型駐車場へのトイレ設置等により来場への利便性は高まった。利便性を向上するためには、敷地内の施設案内表示を作成した。来場者増による管理費の増加も課題と思われる。
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	観光協会と㈱アドミスター下田と同一箇所での宿泊情報からイベント情報、体験情報等を提供できるようにした。

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市外ヶ岡交流拠点施設 (道の駅「開国下田みなと」)	番号	15
--------	----------	--------------------------------	----	----

平成19年度事業内容及び見直し事項

事業内容	見直し事項等
ふれあい体験事業の実施	エントランスを利用して海藻押し葉体験、シークラフト体験をエントランスを利用して実施している。今後他各主催者と協議し、利用率の低い市民ギャラリーで実施するよう誘致していきたい。
情報発信事業	多様化するニーズに対応するため、関係機関の協力を得て各種情報を収集するとともに、各種の個別問い合わせに観光協会、(株)アドミニス-下田で情報の一元化をした。

施設懸案事項

No.	懸案事項	改修経費	備考
1	ハーバーミュージアム展示物変更	無料	JGFA からがき展示物関係借用
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

今後の方向性

今後の方向性	<input type="radio"/> 充実 <input type="radio"/> 効率化等による見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続等 縮小等による見直し 統廃合を進める	(具体的な内容) ・ 情報発信機能は、充実することが必要。(ソフト事業の充実) ・ 施設管理運営については、効率化による見直しが必要。 ・ 指定管理者制度の充実。 ・ 郷土史研究、資料保管、歴史紹介機能は継続。 ・ ハーバーミュージアム展示物模様替え。